

国立国会図書館の図書館情報学実習

メタデータ	言語: jpn 出版者: 明治大学司書・司書教諭課程 公開日: 2022-05-30 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 国立国会図書館関西館図書館協力課 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10291/22494

国立国会図書館の図書館情報学実習

国立国会図書館関西館図書館協力課

国立国会図書館は、国会に属する図書館かつ唯一の国立の図書館として、国会に対するサービス、行政及び司法の各部門に対するサービス、一般公衆に対するサービスを提供しています。具体的な業務には、資料の収集・保存・提供、目録・書誌・索引の作成・提供、電子図書館事業、国内外の図書館・関係機関との連携協力等、様々なものがあります。これらを東京本館、関西館、国際子ども図書館の3施設で分担して行っています。

当館では、3施設いずれでも図書館情報学実習を行っており、応募受付や全体のとりまとめは関西館が担当します。実習生は公募しています。実習内容については、各施設の担当している業務を網羅的に学べるようにプログラムを作成します。内容は幅広く、国立国会図書館特有の業務も少なくないことから、理解を深められるよう、業務説明等の座学の科目も盛り込んでいます。最終日には実習報告会を開き、実習を通じて学んだことや当館業務への改善の提案を発表する場を設けています。

今年度、明治大学からは国際子ども図書館で実習生をお迎えしました。子どもに対するサービスのほか、児童書の研究者へのサービス、資料の収集、展示など、国際子ども図書館が行う業務の全般について、6日間の実習を行いました。最初は緊張されていたようですが、実習期間中は、終始、積極的かつ意欲的に学ぶ様子が見られました。

最終日の実習報告会では、関心を持った内容として、外国刊行児童書の選書や小展示の企画、レファレンス等、様々な業務を挙げていただき、それぞれの業務の難しさとやりがいを実感して、興味を広げられたことがうかがわれました。また、業務改善の提案としては、当館のサービスの認知度を上げるにはどうすればよいかという観点で多くのアイデアを出していただきました。いずれも、実習全体を総合的に理解し、当館事業を俯瞰して気づきを得られた成果と受け止めています。

本実習で扱う内容は多岐にわたり、馴染みの薄い話題もあって難しく感じる場合もあったかもしれませんが、実習での体験から充実した学びを得るためには、事前に学んだ知識と実習での体験を照らし合わせて振り返り、気づいた点や疑問点を明確にしながら、主体的に取り組むことが必要となります。今年度の実習生は、意欲を持って実習に臨み、多くのことを吸収された様子でした。新型コロナウイルス感染症の影響もあり、閲覧室での実習、職員や他大学の実習生との交流などが例年に比べ十分に行えなかった点もあったと思いますが、それでも学びを深める機会として本実習を十分に活用していただけたようで、担当者としては今年度も実施できて良かったと感じています。

末筆ではありますが、本実習で得たことを糧に、今後益々活躍されることを期待しています。